

杉並第一小学校等複合施設整備に係る

検討経過

～中間のまとめ～

平成 27 年 12 月

目 次

はじめに	1
1 検討懇談会の開催経過	1
2 検討懇談会委員名簿	2
3 これまでの検討内容～現時点での到達点～	3
(1) 杉並第一小学校等複合施設整備にかかる基本方針（案）	3
①複合化する施設	3
②整備コンセプト	3
③整備方針	3
(2) 計画の概要	5
①敷地概要	5
②通学区域	5
③用途地域・地区等	5
④施設構成及び規模	7
* 主要諸室の設定（杉並第一小学校）	8
* 主要諸室の設定（阿佐谷地域区民センター・産業商工会館）	9
* 駐車場関連	9
⑤配置計画（案）	10
(3) 改築工事期間中における教育環境の確保について	11
①仮設校舎等について	11
②運動場・プールについて	11
4 整備スケジュール（予定）	12

はじめに

区では、平成 26 年 3 月に策定した区立施設再編整備計画に基づき、築後 57 年を経過した杉並第一小学校の老朽改築に合わせて、阿佐谷地域区民センターと産業商工会館の集会関連機能との複合化を図り、地域の新たなランドマークとなる施設づくりに取り組むこととしています。このため、平成 27 年 7 月に、学校関係者、地域の代表、学識経験者等による「杉並第一小学校改築・複合化検討懇談会」を設置し、新校舎や複合する区民施設の整備について様々なご意見を伺いながら、杉並第一小学校等の改築・複合化に関する基本構想・基本計画の策定等を進めています。

検討懇談会は、これまで 5 回開催しており、これまでの主な検討内容、現時点での到達点などについてお知らせします。

1 検討懇談会の開催経過

	日時・場所	主な内容
第 1 回	平成 27 年 7 月 28 日 午後 3 時～午後 5 時 産業商工会館展示室	○杉並第一小学校の概要・特色等について ○改築・複合化計画の概要について ○改築・複合化における基本的な考え方 ○関連公共施設（阿佐谷地域区民センター・産業商工会館）の現状 ○事業工程（案）及び懇談会スケジュール（案）について
第 2 回	平成 27 年 9 月 2 日 午後 3 時～午後 5 時 阿佐谷地域区民センター 第 4 集会室	○第 1 回懇談会における主な意見について ○学校施設と集会関連機能等の複合化の事例について ○導入する機能・諸室（案）について ○杉並第一小学校等複合施設整備にかかる基本的な考え方（案）について
第 3 回	平成 27 年 10 月 21 日 午後 3 時～午後 5 時 杉並区役所中棟 5 階 第 3・4 委員会室	○第 2 回懇談会における主な意見について ○杉並第一小学校等複合施設整備にかかる基本的な考え方（案）について ○必要諸室の設定（案）について ①杉並第一小学校 ②区民施設 ○建物の規模と校庭の広さについて
第 4 回	平成 27 年 11 月 26 日 午後 3 時～午後 5 時 杉並区役所分庁舎 4 階 A・B 会議室	○杉並第一小学校等複合施設整備にかかる基本方針（案）のまとめについて ○配置計画（案）（ゾーニングイメージ含む）について ○改築工事期間中における教育環境の確保について
第 5 回	平成 27 年 12 月 22 日 午後 2 時 30 分～ 時 分 杉並区役所中棟 5 階 第 3・4 委員会室	○第 4 回懇談会における配置計画（案）にかかる主な意見について ○配置計画（案）（ゾーニングイメージ含む）について ○杉並第一小学校等複合施設整備に係る検討経過（中間のまとめ）について

2 検討懇談会委員名簿

検討懇談会は、下表のとおり 23 名の委員で構成しています。

	団体名等	氏名	備考
1	杉並第一小学校	鈴木 知徳	校長
2		新井 雅晶	副校長
3	阿佐谷地区町会連合会	鈴木 廣美	会長
4	阿佐谷北一丁目町会	宇都野 正朔	会長
5	阿佐谷北二丁目町会	龍前 一榮	会長
6	阿佐谷北三丁目町会	高橋 治	会長
7	杉並第一小学校 PTA	星野 奈美子	会長
8		高橋 由美	前会長
9	杉並第一小学校学校運営協議会	河北 博文	会長
10		岡田 円治	
11		齋藤 博明	
12		井上 廣司	
13	杉並第一小学校学校支援本部	伴野 博美	本部長
14		河野 依子	
15	青少年委員	泉市 清子	
16	阿佐谷新進会商店街振興組合	阿久津 修平	理事長
17	阿佐谷商和会	大井 康博	会長
18	阿佐谷商店街振興組合	浜野 太一郎	前副理事長
19	阿佐谷地域区民センター協議会	諏訪 喜代志	会長
20	東京商工会議所杉並支部	渡辺 功一	阿佐谷ブロック長
21	マイタウン阿佐谷協議会	小川 勝久	会長
22	杉並区都市計画審議会委員	関口 太一	学識経験者
23	東京工業大学教育施設環境研究センター 准教授	斎尾 直子	学識経験者

3 これまでの検討内容 ～現時点での到達点～

(1) 杉並第一小学校等複合施設整備にかかる基本方針（案）

杉並第一小学校等複合施設は、JR阿佐ヶ谷駅至近の立地利便性を生かし、土地の高度利用を図るとともに、阿佐谷地域の特性を踏まえ、より魅力のあるまちに発展していくための拠点施設として、以下のとおり整備を進めます。

①複合化する施設

杉並第一小学校等複合施設の整備にあたっては、一の建物に以下の施設を併設するものとします。

- ◇杉並第一小学校（現地改築）
 - ◇阿佐谷地域区民センター（移設）
 - ◇産業商工会館（移設）
- }（以下「区民施設」という。）

②整備コンセプト

子どもたちが健やかに育ち、多世代のつながりを育む「協奏する学び舎」

～阿佐谷地域の新たな学びと交流・文化の拠点～

子どもたちと地域の様々な人々がかかわりあいながら、子どもたちの健やかな成長を支え、地域の多世代の人々が様々な交流、地域コミュニティ活動、産業振興活動、文化活動を通して、地域のきずなを育み、新たな時代を拓いていく、「学びと交流・文化の拠点」となる機能を備えた施設を整備します。

杉並第一小学校と新たな区民施設が有機的につながり、協奏しながら、阿佐谷のまちを創る拠点づくりを目指します。

③整備方針

◇杉並第一小学校

杉並区内で一番長い歴史・伝統を継承、発展させるとともに、地域の教育力に支えられた特色ある教育活動を踏まえながら、将来を見据えた教育環境の向上を図ります。

◆多様な教育に対応できる学習環境の整備

- 一斉指導、ティームティーチング（TT）、個別・少人数指導、グループ学習など、多様な学習形態に柔軟に対応できる施設とします。
- ICT教育環境、校内情報ネットワーク、ラーニングセンター機能の充実など、「調べる」「学ぶ」「発表する」といった一連の学習が効果的に行える教育環境の充実を図ります。
- 複合施設の機能を可能な限り有効に活用することで、学校教育活動の幅が広がり、質が高まる施設づくりを行います。
- 子どもたちの体力向上が促進できるよう、現状と同等以上の校庭面積を確保するとともに、体を動かす場所として活用できる施設を充実していきます。
- 音楽室機能の充実を図るとともに、区民施設に設置されるホールと隣接するエリアに集約する施設づくりを行い、杉一小ジュニアバンドの活動を支えるとともに、阿佐谷ジャズストリートのパブリック会場としての使用を想定した施設・機能を整備します。

◆安全・安心で、快適に過ごせる学習・生活空間の整備

- 学校の教室、諸施設等は低層階に配置し、児童の教室間移動の動線に配慮した学校づくりを行います。

- 不審者の侵入防止などの安全対策を十分に講じるとともに、多様な利用者が複合施設を利用することに伴う適切な動線計画に配慮した施設整備を行います。
- 子どもから高齢者まで多様な人々が利用しやすいユニバーサルデザインを取り入れた学校とします。
- 自然採光や通風などを積極的に取り入れ、太陽光発電等自然エネルギーの活用も図ることにより、エネルギー消費量を削減し、自然環境に配慮した環境教育に資する学校とします。
- 子どもたちの放課後等における健全育成環境の一層の充実を図るため、阿佐谷児童館内学童クラブ及び小学生の放課後等の居場所事業（放課後子ども教室）が小学校内で連携して実施できるよう必要な環境整備を行います。

◆地域に開かれた学校づくり

- 地域の方々とのかかわりを深めながら、地域の力を最大限に生かした教育活動が進展するよう、施設機能が十分に発揮される学校とします。
- 学校の教育活動や子どもたちの放課後の過ごし方等に支障がない範囲で、地域の方々を利用できる学校施設とします。
- 災害時の地域の避難・復旧拠点として、必要となる防災機能が十分に発揮される施設とします。

◇区民施設

阿佐谷地域の新たな学び、交流・文化の拠点として多世代の人々が自主的に集い交流し、地域の活性化と区内産業の発展、まちの文化の振興を図ります。

◆新たな活動を生み出す地域コミュニティの拠点

- 様々な世代の多様な活動に対応できる集会機能を有することで、活動への支援や交流の推進を図り、新たな活動が生まれ、発展していくような地域コミュニティの拠点を目指します。
- 人々が語り、交流を深める場となるようカフェを設け、だれもが利用できるラウンジとの一体的な活用を図ります。
- 施設の整備にあたっては、多様な活動や、将来の施設利用のニーズの変化にも対応できるよう、1室の分割利用や多目的な用途への対応など、利用者のニーズに合わせた柔軟な使い方ができるような施設とします。
- 一般の利用者が学校の特別教室等を休日・夜間に利用する際は、セキュリティー対策として、利用受付や貸出時の施設管理を区民施設側に一元化し、教育環境の安全確保に努めます。

◆阿佐谷の魅力を発信する地域文化の拠点

- 阿佐谷文化を末永く継承していくため、七夕まつりやジャズストリートなどの様々なイベントにも有効活用できる施設とし、新たな人材の地域活動への参加を促します。
- 子どもたちが地域に根ざした七夕まつりやジャズストリートなどの文化活動に参加するなど、自らの成長を実感し、文化に触れる喜びが得られる取組を促進できるよう、学校の教育活動にも活用することを視野に入れた施設とします。

◆にぎわいと商機を創出する産業振興の拠点

- 展示室やホールを活用した展示会、セミナー、異業種交流会などの開催により、区内事業者の新たなビジネスチャンスにつながる機会を創出する拠点とします。
- 交通至便な立地を生かし、アンテナショップ等に活用できるイベントスペースを整備し、杉並第一小学校のキャリア教育での活用や、区内事業者や交流自治体等の生産品等の販売・展示をするなど、区内産業の情報発信や交流自治体等との交流が促進される施設とします。

(2) 計画の概要

①敷地概要

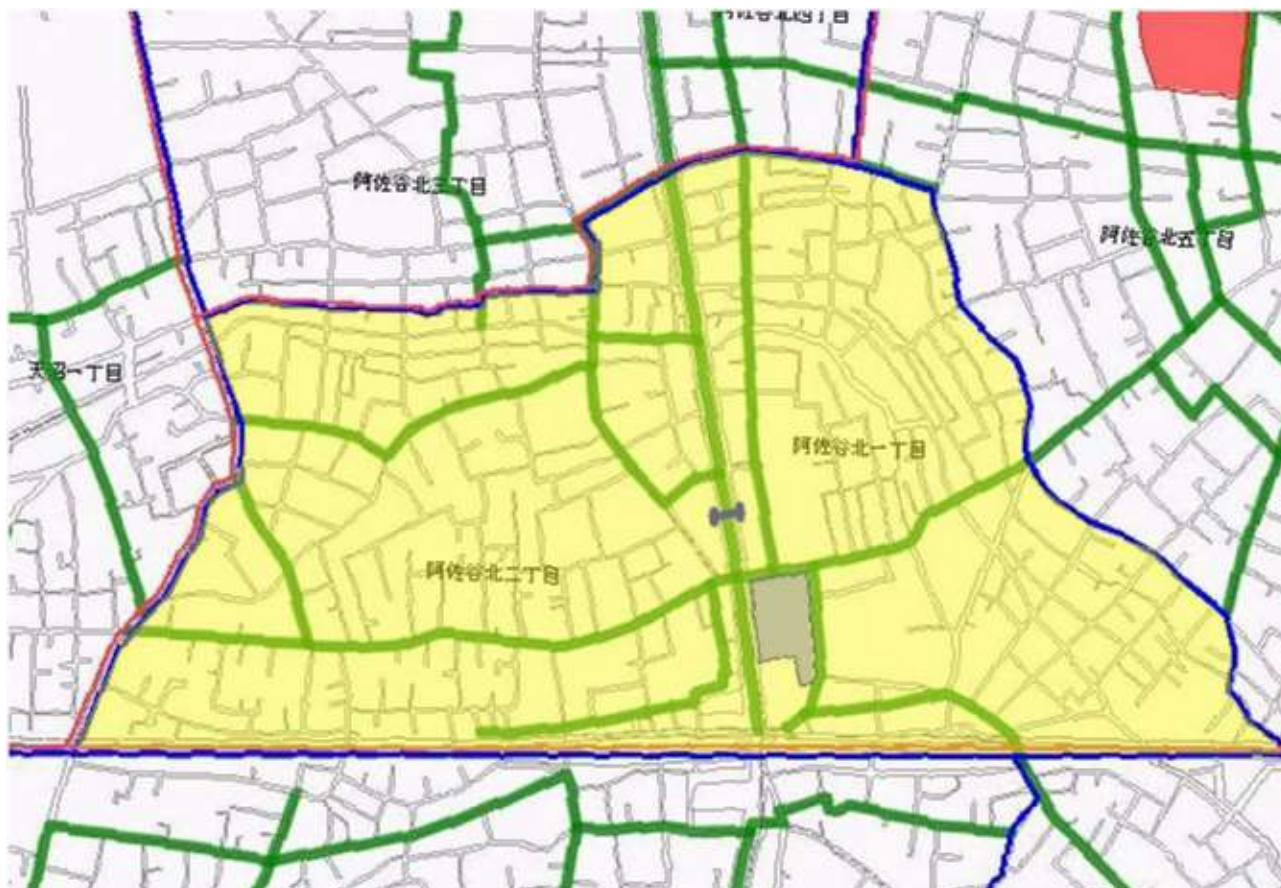
- ◆建設場所 杉並区阿佐谷北1-5-27
- ◆敷地面積 5,432.18㎡ (今後、敷地測量を実施)

本敷地は、JR中央線「阿佐ヶ谷駅」から北東約100mに位置し、駅前の商業施設と近接した場所に立地している。学校正門は、ケヤキ並木がある中杉通りに面し、敷地周辺には、北側に世尊院、神明宮といった社寺地、東側には広大な屋敷林があるなど、駅周辺にもかかわらず緑豊かな環境を形成している。

②通学区域

阿佐谷北1～2丁目(全域)、阿佐谷北3丁目(1～4、8～10番)

<杉並第一小学校通学区域図>



③用途地域・地区等

◆用途地域

○商業地域

容積率(基準)：500%、600%

建ぺい率(基準)：80%

防火地区：防火地域

高度地区：なし

日影規制：なし

○近隣商業地域

容積率(基準)：300%

建ぺい率(基準)：80%

防火地区：準防火地域

高度地区：第2種高度地区

日影規制：測定面4m、4時間/2.5時間

○第一種中高層住居地域

容積率(基準)：200%

建ぺい率(基準)：60%

防火地区：準防火地域

高度地区：第2種高度地区

日影規制：測定面4m、3時間/2時間

	地域・地区	用途地域ごとの敷地面積	容積率	建ぺい率(基準)	建ぺい率(緩和※)
商業地域	防火地域	2,351.12m ²	500%	80%	100%
商業地域	防火地域	271.54m ²	600%	80%	100%
近隣商業地域	準防火地域	635.32m ²	300%	80%	100%
第一種中高層住居地域	準防火地域	2,174.19m ²	200%	60%	80%
敷地全体		5,432.18m ²	361.5%		92.0%

※角地、防火地域内耐火建築物を条件とします

敷地全体での基準容積率・建ぺい率

基準容積率	361.5%
許容容積対象床面積	19,639m ²
基準建ぺい率	92.0%
許容建築面積	5,001m ²

④施設構成及び規模

学校施設については、以下の児童数の推計によって示された児童数及び学級数により、杉並区立小中学校老朽改築計画（平成26年5月策定）における「小学校標準建物面積」に基づき、建設する新校舎の規模、教室数等を計画する。

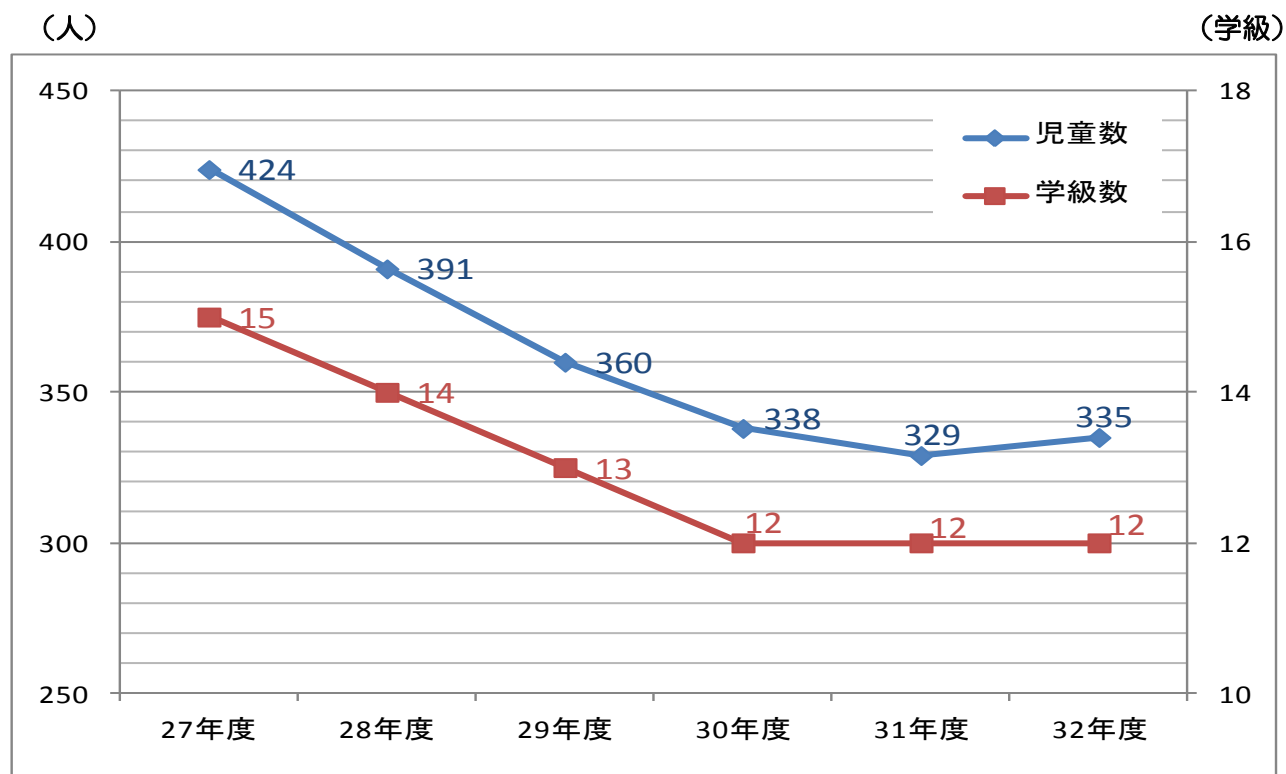
杉並第一小学校児童数・学級数の推計（平成27年11月）

平成27年度	1年		2年		3年		4年		5年		6年		計	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
	57	2	54	2	66	2	83	3	82	3	82	3	424	15
平成28年度	1年		2年		3年		4年		5年		6年		計	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
	49	2	57	2	54	2	66	2	83	3	82	3	391	14
平成29年度	1年		2年		3年		4年		5年		6年		計	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
	51	2	49	2	57	2	54	2	66	2	83	3	360	13
平成30年度	1年		2年		3年		4年		5年		6年		計	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
	61	2	51	2	49	2	57	2	54	2	66	2	338	12
平成31年度	1年		2年		3年		4年		5年		6年		計	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
	57	2	61	2	51	2	49	2	57	2	54	2	329	12
平成32年度	1年		2年		3年		4年		5年		6年		計	
	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数
	60	2	57	2	61	2	51	2	49	2	57	2	335	12

※平成27年度の数值は5月1日現在の実数

平成28年度以降の児童数、学級数は、教育委員会における推計値

学級数・・・30人程度学級（1学級34人）による編制



*主要諸室の設定（杉並第一小学校）

杉並区立小中学校老朽改築計画（平成 26 年 5 月策定）における「小学校標準建物面積」に基づき、以下のとおり、必要諸室を設定する。

区分	室名	現状		改築後		備考
		室数	面積 (㎡)	室数	面積 (㎡)	
教室	普通教室	15	945	14	896	
	小人数教室	1	94.5	3	192	普通教室に転用可能
	生活科室	—	—	1	64	普通教室に転用可能
	個別学習室	—	—	3	36	特別支援教室としての活用を想定
	特別教室					
	理科室	1	101	1	128	
	音楽室	1	81	1	224	音楽室機能の拡充 学校開放施設としての活用も想定
	図工室	1	94.5	1	128	学校開放施設としての活用も想定
	作品保管庫	1	31.5	1	36	
	陶芸釜室	—	—	1	12	
	家庭科室	1	117	1	128	学校開放施設としての活用も想定
	ラウンジ センター（図書室）	1	63	1	178	
	コンピュータ室	1	81	—	—	タブレットPCによる学習環境を整備
	多目的室	1	85.5	2	256	放課後子ども教室の拠点として1室増 1室は、学校開放施設としての活用も想定
運動	体育館					
	アリーナ	1	544	1	672	学校開放施設としての活用も想定
	ステージ			1	120	
	プール	1	—	1	—	
その他 管理諸室等	職員室、保健室、給食室、 事務室、学校支援本部室、 共有スペース等		2,042		約4,430	
	合 計		4,280㎡		約7,500㎡	

* 主要諸室の設定（阿佐谷地域区民センター・産業商工会館）

阿佐谷地域区民センター及び産業商工会館の現状の機能等を踏まえ、新施設を整備するにあたり、以下のとおり、効率的・効果的に必要諸室を設定する。

区分	室名	現在の施設規模				新施設の想定規模案		備考
		施設名	室数	面積 (㎡)	定員 (人)	室数	面積 (㎡)	
ホール機能	講堂（ホール）	産業商工会館	1	227	160	1	400	・阿佐谷ジャズストリート会場の活用を想定 ・杉並第一小学校の発表会等の活用を想定 充実
集会室機能	集会室（洋室・和室）	地域区民センター	10	420	232	13~15	650	・一体利用を想定
		産業商工会館	4	203	110			
にぎわい創出機能	ラウンジ・カフェ	（新設）	—	—	—	1	200	・コーヒー、紅茶やその他ソフトドリンク、軽食などを提供 充実
	イベントスペース	（新設）	—	—	—	—	100	・区内産業の情報発信、交流都市による物産展等を行うスペース 充実
体育室機能	レクリエーション室	地域区民センター	2	112	30	2	100	・現行と同規模で整備 ・一体利用を想定 ・社交ダンス利用対応可
	体育室	地域区民センター	1	183	—	1	180	・現行と同規模で整備
展示機能	展示室	産業商工会館	1	148	84	3~4	400	・一体利用を想定 充実
音楽室機能	音楽室	地域区民センター	1	124	40	2~3	160	・新たに小音楽室を整備 充実
	ピアノ室	（新設）	—	—	—	1~2	30	・新たにピアノ室を整備 充実
工芸室機能	工芸室	地域区民センター	1	64	16	1	60	・現状と同規模で整備
料理室機能	料理室	地域区民センター	1	66	24	—	—	・近隣のゆうゆう阿佐谷館の活用を想定 見直し
その他	管理機能（廊下・階段等を含む）	地域区民センター	2,069			2,220		・共有スペースほか、複合化に伴い効率化
		産業商工会館	1,233					
合計			4,849㎡			約4,500㎡		

* 駐車場関連 ※容積対象外

区分	面積 (㎡)	備考
駐車場		
駐輪場		
合計	㎡	

⑤配置計画（案）

(3) 改築工事期間中における教育環境の確保について

杉並第一小学校の老朽化に伴う改築に合わせて、阿佐谷地域区民センター及び産業商工会館との複合化による整備を図ることにより、仮設期間が3カ年と通常より長期間に及びことや、現在の校舎、体育館、校庭はすべて解体し、使用できなくなることから、その間の安定的な教育環境を確保するために、下記のとおり対策を講じることとして、具体的な検討・調整を図っていきます。

①仮設校舎等について

- 杉並第一小学校学区内において、仮設校舎及び仮設体育館を建設するために必要な面積が確保できる「阿佐谷けやき公園（阿佐谷けやき公園プール含む）」を活用します。
- 仮設校舎等設置期間は、公園として供用できないため、「阿佐谷けやき公園」と「阿佐谷けやき公園プール」は廃止します。なお、仮設校舎の解体後は、速やかに公園として整備を図ります。プールを含めた公園施設のあり方については、別途検討します。
- 平成29年度中に公園用地に仮設校舎を建設します。仮設校舎には、立地条件を踏まえた防音対策を施すほか、空調設備や普通教室の電子黒板等を整備します。

②運動場・プールについて

- 学区内の民間用地を活用して、現在の校庭規模と同等以上の面積を確保し、杉並第一小学校が専有して使用できる代替運動場を整備します。
- なお、プールについては、近隣の小学校の協力を得て対応するなど、必要な時数を確保できるよう、具体的な調整を図っていきます。

【スケジュール（予定）】

杉並第一小学校等複合施設 改築工事スケジュール		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
		基本設計	実施設計	新校舎・体育館等 建設工事			新校舎運用
阿佐谷けやき公園 阿佐谷けやき公園プール (仮設校舎・仮設体育館建設用地)		プール 解体設計	プール 解体工事 公園 敷地工事	公園として整備			
民間用地 (代替運動場整備用地)		運動場設計・整備					
学校 教育 環境 の 確保	調査検討	改築工事期間中の対応・スケジュール					
	普通教室 特別教室 管理棟等 給食室等	仮設校舎 (阿佐谷けやき公園 用地内)	仮設校舎設計	仮設校舎建設	運用		
	運動場	仮設体育館 (阿佐谷けやき公園 用地内)	仮設体育館設計	仮設体育館建設	運用		
	プール	代替運動場 (民間用地の活用)	運用				
		近隣小学校	代替運動場設計・運動場確保				

4 整備スケジュール（予定）

平成 27 年度	基本構想・基本計画の策定
平成 28 年度	基本設計 仮設校舎建設用地の環境整備工事 代替運動場の整備工事
平成 29 年度	実施設計 仮設校舎、仮設体育館の建設 仮設校舎への移転
平成 30 年度 ～平成 32 年度	既存校舎解体 校舎・施設建設工事
平成 33 年度	新校舎、新施設において運営